

## 千葉大学ユニオンニュース 第86号 2014年3月24日

編集・発行：千葉大学ユニオン 事務局：西千葉キャンパス旧薬学部1号館316 メール：cuu@e-mail.jp

電話・FAX：043-290-2234 HP：http://www.age.cc/~cuu/（過去のニュースもご覧になれます）

☆職場でお困りのこと、お気づきのこと、ご質問・ご意見をお寄せください。

### センター試験入試監督手当の速やかな導入を！

#### — 多くの大学で制度化されている実態が明らかに —

ユニオンでは主要国公立各大学のセンター試験入試監督手当について調査を行いました。多くの大学で1日あたり1万円程度の手当が支給されている実態が明らかになりました。千葉大学でも速やかな導入を求めます。

今年のセンター試験も終わりました。12月25日に行われたユニオンと大学当局との協議のおかげで、昨年まで1週間であった休日振替期間が1ヶ月に延びた部局も多くあるようです。皆様の部局は如何でしょうか？もし、まだ振替期間が短く実質の無賃労働がなされている場合は、ユニオンまでお知らせ下さい。

このように若干の改善が見られる休日振替制度ですが、ユニオンでは振替による休日の確保のみならず、入試手当の給付が妥当であると考えています。

センター試験の監督業務は、それを遂行するために大学入試センターから配布される膨大な資料を読む必要があり、事前に多大な時間が割かれます。また当日は間違いが許されないことから強い緊張を長時間強いられ、通常の職務とは全く異なる特殊な業務であると言えます。

加えて、センター入試に関しては大学入試センターから各大学に対して実施に必要な費用が配分されています。その多くは人件費ですが、配分された経費の用途は大学の裁量に任されているため、休日の振替により実際の監督業務等に関わった人に配分されず、人件費として配分されたお金の約半分は実際には物品費に充てられています。この経費は本来試験業務に従事した人が得るべき正当な対価です。

センター試験監督の入試手当を大学に要求するための資料として、他大学の例を少し調べてみました。多くの大学ではセンター入試の監督業務に関する手当は職員給与規程に記載され、web ページから見る事ができます。そこから分かったのは多くの大学で監督者あたり1日あたり1万円程度が支給されていることです（表参照）。千葉大学でも多くの大学の例に従い、1日1万円程度のセンター監督業務手当を支給するとともに、この支給額を職員給与規程に明記することを大学に要求していきます。このため近々、大学と協議を再度行う予定にしています。

表：主要大学のセンター試験入試監督手当

大学名	センター試験手当 (試験監督1日)
弘前大	18000 円
秋田大	10000 円
岩手大	11000 円
山形大	8000 円
福島大	10000 円
茨城大	2000 円
群馬大	10000 円
宇都宮大	13000 円
東大	8000-11000 円
東工大	7000-10000 円
首都大学東京	6000 円
名古屋大	9000 円
島根大	10000 円
鳥取大	8000 円
香川大	8000 円
高知大	15000 円
熊本大	21000 円
九州大	10000 円
長崎大	14000 円
琉球大学	4500 円

\*各大学 web ページの情報および大学ユニオンからの情報をもとに千葉大ユニオン執行部作成

## 退職者歓送会が開催されました

ユニオンでは毎年、退職される組合員をお招きして歓送会を開いています。今年度の退職者歓送会は3月10日（月）、西千葉キャンパスの生協フードコートにて開催されました。20名の参加をいただきました。

歓送会では、3月をもって大学をご退職される松本みどりさん（理学部）、東崎健一さん（教育学部）、岩崎三郎さん（理学部）を囲み、これまでの思い出話に花が咲きました。

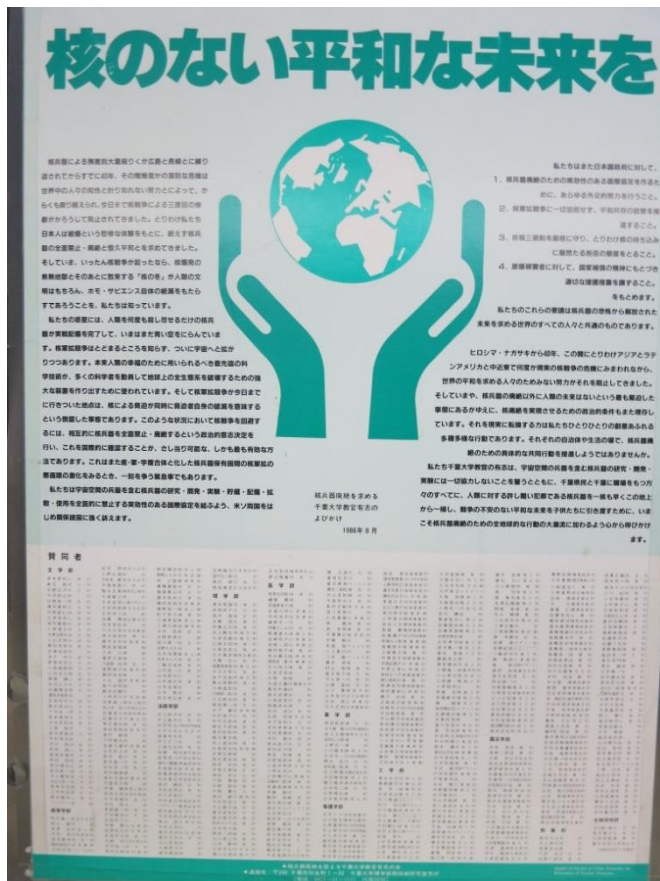


参加者で記念撮影

また、記念品贈呈後のスピーチでは、お三方からキャンパスでのお勤めにかかわるエピソードをご披露いただきました。松本さんからは教務教員の処遇をめぐる長きにわたる交渉の経過について、東崎さんからは1986年に全学的に取り組まれた「核兵器廃絶を求め千葉大学教官有志の呼びかけ」について、岩崎さんからは教養部時代の教員どうしの交流についてお話がありました。最近千葉大にやってきた教職員にとっては初めて知る内容も多く、参加された皆さんは熱心に聞き入っていました。機会があればユニオンニュースでもご紹介したいと思います。



左より岩崎さん・松本さん・東崎さん



東崎さんよりお預かりした核兵器廃絶を求める有志教員のアピール。部局を超えて多くの教員が賛同しています。このパネルはユニオンで保存します。

## 給与減額訴訟を支援する

### 署名を提出！

残念ながら断行された給与減額。ようやく4月より解消されますが、高エネ研（独法）職組、福岡教育大教職組、全高大高専協議会の3団体は、給与減額が実施されたことを問題とする訴訟を起こしています。

ユニオンでは要請を受け、各訴訟での公正な判決を求める支援署名に協力しました。集約まで時間があまりなかったのですが、2月末までに62筆の署名を集めることができました。ご協力ありがとうございました。

署名の窓口となっている海洋大品川職組からもお礼をいただいています。また、上記3団体に加え、7つの大学の教職組が新たに提訴（予定も含む）に踏み切りました。今後の動向が注目されます。